

## 平成 25 年度 全国山岳遭難対策協議会開催要項

### 1 趣 旨

登山における遭難事故を防止するため、山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる。

### 2 主 催

文部科学省、環境省、警察庁、気象庁、消防庁、公益社団法人日本山岳協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所、山岳遭難対策中央協議会

### 3 期 日 平成 25 年 7 月 3 日 (水)

### 4 会 場 文部科学省 3 階講堂

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

電 話 03-5253-4111 [内線 2686]

FAX 03-6734-3792

### 5 参加者

(1) 各都道府県からの参加者は、次の①及び②に該当する者の中から 4～5 名とする。

① 各都道府県教育委員会の関係者

② 下記に該当する者

ア 各都道府県山岳遭難救助組織（都道府県遭難対策協議会、警察、消防防災、自然公園保護等）の関係者

イ 各都道府県山岳連盟（協会）の関係者

ウ 高等学校登山部（山岳部）の関係者

(2) 山岳ガイド、山小屋の関係者、旅行会社等のツアー登山関係者、メディア関係者、登山道具製造業関係者、登山道具小売業関係者

(3) 高等専門学校山岳部の関係者（顧問、監督、コーチ等）

(4) 大学山岳部の関係者（顧問、監督、コーチ等）

(5) その他山岳団体関係者

### 6 内容

(1) 開会式 10:00～10:15

(2) 報告Ⅰ 「平成 24 年中の山岳遭難事故概況報告」 10:30～11:00 (30 分)

報告者：警察庁生活安全局地域課課長補佐 大林 昌弘 氏

(3) 報告Ⅱ 「亀山市消防山岳救助隊の課題と今後の取組について」 11:10～11:50 (40 分)

報告者：三重県亀山市消防本部関消防署主幹山岳救助隊長 原 博幸 氏

報告者：三重県亀山市消防本部亀山消防署主査 上田 啓介 氏

(昼食・休憩 11:50～13:20)

(4) 講演Ⅰ 13:20～14:40 (質疑応答 10 分)

「黒部の救助現場から」

講師：阿曾原温泉小屋 代表 佐々木 泉 氏

(5) 講演Ⅱ 14:50～16:00 (質疑応答 10 分)

「安全登山のための登山計画および入下山届の新システム」

講師：長野県警察本部地域部地域課課長補佐

長野県警察山岳遭難救助隊隊長 宮崎 茂男 氏

講師：日本山岳ガイド協会ネットワーク担当 今 史靖 氏

(6) 閉会式 16:10～16:20

7 日程表

9:30	10:00	10:15	10:30	11:00	11:10	11:50	13:20	14:40	14:50	16:00	16:10	16:20
受付	開会式		報告 I		報告 II	昼食	講演 I		講演 II		閉会式	

8 申し込み

別紙様式に必要事項を記入の上、平成25年6月25日(火)までに、所属別に下記の関係省庁・団体等へ申し込むこと。

	所属	申込先 F A X	担当所属	担当者
1	警察庁関係者	03-3580-3014	警察庁生活安全局地域課	吉野 雅俊
2	環境省関係者	03-3595-1716	環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室	小倉 茂
3	気象庁関係者	03-3284-0180	気象庁予報部業務課 防災計画係	吉松 雅行
4	消防庁関係者	03-5253-7576	消防庁 国民保護・防災部参事官付 救助係	鶴見 純
5	山岳団体関係者	03-3481-2395	公益社団法人 日本山岳協会	西内 博
6	1～5以外	03-6734-3792	文部科学省スポーツ・青少年局 スポーツ振興課スポーツ指導係	那須野 親

(別紙様式)

平成25年度全国山岳遭難対策協議会申込書

フリガナ		所属先・勤務先	役職	連絡先		
参加者氏名				〒	住所	電話番号
例	モンカ タロウ	〇〇〇	◇◇	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇県△△市□□1-1-1	〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	文科 太郎					
1						
2						
3						
4						
5						

※FAXにてお申込みください。

※宿泊、昼食の御準備は各自でお願いいたします。

※会場内は飲食ができませんので、昼食についてはお近くのレストラン等をご利用下さい。

※申込み人数が多数の場合は申込書を複写して使用してください。

申込締切日：平成25年6月25日(火)

FAX送信先：開催要項参照